

思考力・判断力・表現力を育む国語科の指導 ～言語活動の充実を通して～

I 研究の内容

本部会では生徒の実態を踏まえ、上記のようなテーマで研究に取り組んできている。コミュニケーションツールの変化や人間関係の希薄か、情報があふれている現代社会において、生徒達にとってより良い人間関係を構築していくための表現力や、自分で考え、判断し、必要な情報を取捨選択していく力が、今まで以上に必要となってくる。国語科の果たす役割はますます大きくなっていくだろう。

本年度は、「中納言石上磨足の話」を用い、「竹取物語」が読み継がれている理由を考える実践を行った。古典に対する興味・関心を高める授業となった。

II 成果物

指導者 倉田 香月

1 単元名・目指す言語能力

「中納言石上磨足の話」のおもしろさから「竹取物語」が読み継がれてきた理由を考えよう。

2 教材名 「蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から」

3 展開

	学習活動	指導上の留意点
導 入 (五 分)	1 今回の学習活動を把握する。 ① 「中納言石上磨足の話」のおもしろさについて、前回まとめた個人の考えを、班の中で交流するということを確認する。 2 めあてを掴む。 ① デザインシートに、めあてを記入する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて「竹取物語が読み継がれてきた理由を考える」</div>	・“おもしろさ”の視点として、「共感できるところ」や「新しく発見したこと」などがあることを、再度確認しておく。 ・めあてを板書する。

<p style="text-align: center;">展 開 (四 十 分)</p>	<p>3 意見を交流する。</p> <p>① 班活動の進め方を確認する。(5分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班長の指示で、一人ずつ「中納言石上磨足の話の中で最も印象に残った部分と、その理由を発表する。 ・発表された意見に対して、他の班員は必ず反応をする。 <p>② 班の中で意見を交流する。(20分)</p> <p>③ 各班で出た意見を、班長が全体に向けて発表する。(5分)</p> <p>4 「竹取物語」が読み継がれている理由を考える。(10分)</p> <p>① 「竹取物語」が1000年経っても読み継がれている理由を、個人で考え、ワークシートに記入する。</p> <p>② 指名された数人が、意見を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の自分たちにも共感できるところがあるから読み継がれている。 ・新しい考え方を知ることができるから、いつでも新鮮に読める。 ・今と重なるところがあり、今でもおもしろいと感じる部分があるから読むことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の進め方をスクリーンに示しておく。 ・深まりのある活動になるように、意見を聞いて、他の班員が感想や疑問点を発言するよう指導する。 ・全員が積極的に活動に取り組んでいるか確認する。 ・班活動中に記入したホワイトボードを示させる。 ・各班が紹介したおもしろさを参考に考えさせる。 ・出された意見を板書する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">評価：物語が読み継がれている理由を考えている。</p> </div>
<p style="text-align: center;">ま と め (五 分)</p>	<p>5 古典作品を学習する意義を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典作品には、現代と通じる人々の生き様が描かれており、現代でも十分楽しめると同時に、自分自身のものの見方を広げることができるため学習する意義があるのだということを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以前に学習した「月に思う」にも触れる。 ・まとめを板書する。

Ⅲ 成果と課題

言語活動の仕組み方や生徒が自分の考えを深め、広げるためにはといった方法論などをお互いに学び合うことができた。古典という生徒にとって敷居が高くなりがちな単元について学ぶ意義や楽しさについて掘り下げられて考えられた。来年度から新学習指導要領の完全実施となるため、評価のあり方やについて具体的に検討していきたい。

(部長 武井 善史)